

平成22年度 芦屋市立青少年愛護センター事業報告

1. 会議

芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会

第1回 ... 5月13日(金)

第2回 ... 11月18日(木)

芦屋市立青少年愛護センター関係

国・近畿地区関係

- ・平成22年度 近畿地区青少年補導センター連絡協議会総会 8月25日・大阪市
兼 第40回 近畿地区青少年補導センター連絡協議会研修大会「大阪大会」

大会主題 「青少年の心を育てる地域社会のあり方」

テーマ別研修

1)「少年非行防止について」

講師 木下 裕一氏(弁護士・いぶき法律事務所)

西嶋 嘉彦氏(大阪府立修徳学院長)

司会進行 宇高 典子氏(大阪府立子どもライフサポートセンター総括主査)

2)「薬物乱用防止について」

講師 松田 岳彦氏(大阪府健康医療部薬務課 総括主査)

達石 和也氏(大阪府警察本部生活安全課少年育成総括担当補佐)

司会進行 千葉 洋二氏(大阪府政策企画部青少年・地域安全室青少年課 総括主査)

3)「大阪府少年サポートセンターの活動について」

講師 矢野 士郎氏(大阪府岸和田少年サポートセンター少年育成室)

久米 修史氏(大阪府岸和田少年サポートセンター育成支援室)

司会進行 大槻 亮志氏(大阪府教育委員会事務局市町村教育室児童生徒支援課)

全大研修

「カウンセリングを活かした青少年との関わり方」

講師 米田 薫氏(大阪青山大学 健康科学部 教授)

県関係

兵庫県青少年補導センター連絡協議会

- ・総会及び第1回理事会(所長会)

5月14日・西宮市

内容 第43回兵庫県青少年補導委員大会・研修会「川西大会」について

平成21年度 事業・決算報告

平成22年度 事業計画・予算

平成22年度 役員選出

- ・第2回理事会(所長会)

6月4日・加古川市

内容 所長1日研修会(8月18日予定)について

所長・会長一日研修(10月29日予定)について

第43回 兵庫県青少年補導委員大会(川西市・11月17日)について

- ・第3回理事会(所長会) 9月2日・赤穂市
内容 平成23年度 事業計画(案)
平成23年度 役員改選・選考について
兵庫県青少年補導委員大会・研修会について(11月17日)
所長・会長一日研修について(10月29日)
- ・所長一日研修会 8月18日・神戸市
内容 グループ討議(各センターの活動概要をもとに)
・補導活動の進め方他
- ・所長・会長一日研修会 10月29日・高槻市
- ・第43回兵庫県青少年補導委員大会・研修会 11月17日・川西市

阪神関係

阪神南青少年本部会議 5月21日・尼崎市

- 内 容：平成21年度 事業実施報告・収支決算
- 平成22年度 役員選出
- 平成22年度 事業計画・収支予算案について

第46回 阪神地区青少年補導センター連絡会 6月2日・猪名川町

- 内 容：平成22年度の各補導センターの事業計画について
- 各センター運営上の諸問題について

芦屋市青少年育成愛護委員会関係

県関係

兵庫県青少年補導委員連合会

- ・総 会 5月14日・西宮市
内 容：平成21年度 事業・決算報告
兵庫県青少年補導委員連合会会則
平成22年度 役員
平成22年度 活動方針
平成22年度 事業計画・予算案について
- ・第1回運営委員会 第2回会長・副会長会 兼 第1回ブロック長会議
内 容：平成22年度 第43回兵庫県青少年補導委員大会・研修会について
平成22年度 所長・会長一日研修について
平成22年度 各市町負担金について
平成22年度 年間事業計画(案)について
平成22年度 総会・補導委員大会・研修会等について

阪神関係

阪神地区青少年補導委員連絡協議会

- ・第1回 役員会 6月16日・伊丹市
 - 内 容：平成21年度事業報告並びに決算報告等
 - 平成22年度事業計画（案）並びに予算（案）
 - 平成22年度阪神地区青少年補導委員連絡協議会総会・研修会
 - 平成22年度阪神地区青少年補導委員連絡協議会負担金

- ・総会及び研修会 兼 青少年を守り育てる地域フォーラム 7月 2日・伊丹市
 - 内 容：平成21年度 事業報告・決算報告
 - 平成22年度 新役員の選出
 - 平成22年度 事業計画・予算（案）
 - 講演会：テーマ「学校と青少年育成について」
 - 講 師：元伊丹市立中学校校長
現伊丹市立稲野幼稚園園長 石原 隆典 氏

- ・阪神7市1町 合同補導委員研修会 10月1日・猪名川町
 - 講演会：テーマ『孤立している子どもを支えるには』～学校・家庭・地域～
 - 講 師：教育アドバイザー 堰八 正隆 氏

その他の青少年育成愛護委員会関係

- ・芦屋市青少年育成愛護委員会 総会及び委嘱式 6月2日・市民センター

- ・芦屋市青少年育成愛護委員会 役員会 毎月定例・青少年センター
 - 4月20日 愛護委員会の役員改選について
 - 班会計の決算報告
 - 委嘱式・総会の各班の分担について

 - 5月18日 22年度愛護委員委嘱式（総会）について
 - 新年度役員案，会計案等の承認
 - 班会計の決算報告
 - 委嘱式・総会の各班の分担
 - 5月分の活動報告と活動記録の処理について
 - 腕章などの引継ぎについて

 - 6月15日 班長の役割について
 - 青少年愛護条例の改正に伴う保育所，幼稚園への広報について
 - 活動費，班運営について
 - 阪神地区青少年補導委員連絡協議会総会・研修会の参加について
 - 社会を明るくする運動について
 - 協会事業「子どもと語る会」について

- 7月20日 7市1町補導委員連絡協議会総会・研修会について(報告)
「社会を明るくする運動」市民の集いについて(報告)
6月の活動の感想等について
協会事業「子どもと語る会」について
・中学校の部 8月27日(金)青少年センター
・小学校の部 9月1日(月)朝日ヶ丘小学校, 精道小学校
浜風小学校
三市合同パトロール(8/9, 西宮市)について
第1回 愛護委員研修会「声かけの実際」について
- 8月17日 三市合同パトロールについて(報告)
協会事業「子どもと語る会」について
- 9月21日 第1回愛護委員研修会「声かけの実際」の開催について
協会事業「子どもと語る会」について(報告)
「阪神7市1町合同補導委員研修会」(10月1日)について
市内合同パトロールについて(10月20日)
- 10月19日 市内合同パトロール(10月20日)について
社会を明るくする運動の関連事業:公開ケース検討会について
平成22年度 防犯ネットワークづくり交流会について(連絡)
第43回 兵庫県青少年補導委員大会・研修会について(連絡)
平成22年度 青少年育成愛護大会について(協会事業)(連絡)
- 11月16日 高梨 敬一郎氏の講演会を聞く
(会場:兵庫県芦屋特別支援学校)
- 12月21日 愛護大会について(11月25日)(報告)
施設見学会について(兵庫県神出学園, 愛護協会事業)
中青健合・愛護委員会同研修会について(2月25日)
ウルトラマンプレート設置マニュアルの扱いについて
- 1月18日 中青健合・愛護委員会同研修会について(2月25日)
施設見学会について(協会事業)
平成23年度愛護委員委嘱式・総会について(6月1日)
愛護協会総会について(5月19日)
- 2月15日 平成23年度愛護委員会役員について
中青健, 愛護委員会合同研修会について(2月25日)
施設見学会について(3月24日, 協会事業)
平成23年度愛護委員委嘱式・総会について(6月1日)
愛護協会総会について(5月19日)

3月15日 中青健，愛護委員会合同講演会について（報告）
新委員予定者の推薦について
愛護協会の入会と総会（5月19日）について
施設見学会について（3月24日・神戸市西区：神出学園）
平成23年度愛護委員委嘱式・総会について（6月1日）

- ・講習会「声かけの実際」 9月17日・青少年センター
内 容：西宮サポートセンター職員及び芦屋警察署生活安全課職員を講師に招き，
よい声かけの仕方等の講習会を行う。 参加者 45人
- ・市内合同パトロール 10月20日・市内全域
特 記：新たに兵庫県立芦屋特別支援学校を加えた。 参加者 64人
- ・講演会（中青健合同研修と共催） 2月25日・市民センター
内 容：テーマ 「聞き上手は話し上手」
講 師：高梨 敬一郎氏（関西国際大学客員教授） 参加者 117人

芦屋市青少年育成愛護協会関係

- ・芦屋市青少年育成愛護協会 総会・研修会 5月20日・青少年センター
研修会：テーマ「食育を考える」～学校給食の現場から～
講 師：浜風小学校栄養教諭 奥 瑞恵 先生
- ・芦屋市青少年育成愛護協会 理事会 毎月定例・青少年愛護センター
- ・第19回 子どもと語る会 中学生の部 8月27日 ・青少年センター
小学生の部 9月1日・朝日ヶ丘小学校，精道小学校
潮見小学校
内 容：テーマ『今，子どもの言い分，思いは』
参加者：中学生21人・小学生51人
- ・平成22年度 青少年育成愛護大会 11月25日・市内及び青少年センター
- ・施設見学 3月24日・神戸市西区 神出学園

芦屋市中学校区青少年健全育成推進会議

- ・代表者会 4月27日・潮見中学校
- ・精道中学校区青少年健全育成推進会議 役員会 6月11日・精道中学校
- ・精道中学校青少年健全育成推進会議（打小事業） 9月16日・打出浜小学校
内 容：インド人講師によるインド式ヨガ
講 師：ナリニ・トシニワル氏
- ・山手中学校青少年健全育成推進会議 役員会

- ・山手中学校区青少年健全育成会議 事業 9月25日・山手小学校
10月16日・岩園小学校
内 容：交流事業 山手中学校プラスバンド部が山手小学校，岩園小学校の運動会
に出演
- ・精道中学校区青少年健全育成推進会議（精中イベント）12月 1日・精道中学校
内 容：桂そうば氏の落語，地域の方のゴスペル，精小5年（島んちゅうぬ宝他）
宮小4年（花笠音頭：踊り），打小4年（ドレミの歌他：歌），精中合唱部，
精中吹奏楽部による交流イベント
- ・潮見中学校区青少年健全育成推進会議 役員会 1月27日・潮見中学校
- ・精道中学校区青少年健全育成推進会議 役員会 2月17日・精道中学校
- ・市内中学校青少年健全育成推進会議合同研修会（青少年育成愛護委員共催）
2月25日・市民センター
内 容：テーマ 「聞き上手は話し上手」
講 師：高梨 敬一郎氏（関西国際大学客員教授） 参加者 117人

市関係会議

- ・生徒指導連絡協議会（学校教育課所管） 毎月定例・市教委
- ・要保護児童対策地域協議会（こども課所管）
第1回代表者会議 6月29日・市役所
第2回実務者会議（ケース検討会） 9月29日・市役所

2. 愛護活動

青色回転灯付パトロール車による下校時の安全パトロール（山中校区）

青少年愛護センター（月・水・金） 火・木曜日は教委事務局で対応
現在，毎日3台のパトロール車が市内を巡回している。

愛護委員街頭巡視活動（夜間パトロール含む 各班委員 1人あたり概ね月2回）

白ポスト定期回収（月1回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般図書	20	67	65	50	51	71	71	34	52	30	34	68	613
有害図書	37	85	101	45	62	57	141	71	109	43	121	174	1,046
有害VD	16	30	45	5	13	34	148	3	42	90	31	285	742
計	73	182	211	100	126	162	360	108	203	163	186	527	2,401

設置箇所 JR 芦屋駅南 / 阪神打出駅 / ダイ-芦屋浜店東 / 市役所北館駐車場
JR 芦屋駅北（2F）/ 阪急芦屋川北広場
書店，ビデオ店，コンビニ等訪問指導（随時）

特別街頭補導 ... 祭り（打出天神，コミスク祭り，サマーカーニバル等）

3. 広報・啓発活動

- 「愛護班ニュース」の発行 月1回
- 「愛護だより」の発行 年8回
- 「愛護だより～乳幼児編～」 2回
- 健全育成・非行防止等チラシ等配布，街頭巡視等（随時）
- ホームページの更新（毎月）

4. 相談業務

・電話相談，来所相談（随時） 相談件数 30件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話相談	1		2			3	4			1		2	13
面接相談		2	2	1		3		1	4	2	1	1	17
計	1	2	4	1		6	4	1	4	3	1	3	30

5. 調査研究業務

・青少年問題資料収集

6. 関係機関，団体との協力・連携

- ・生徒指導連絡協議会を通して
学校教育課・各校生徒指導担当者・適応教室（定例 月1回）
- ・要保護児童対策地域協議会を通して
保健福祉部こども課，民生児童委員，社会福祉協議会等（代表者会，実務者会）
- ・教育相談連絡会・市内各学校園（随時）
- ・芦屋警察署・西宮サポートセンター（随時）
- ・阪神南県民局・阪神南青少年本部（随時）

7. 一年を振り返って

(1) 6歳未満の子どもと保護者に愛護活動の周知と協力を求めていく取り組みについて
平成21年5月に兵庫県青少年愛護条例の改正に伴い，6歳未満の乳幼児も青少年の範囲に加わったことから，6歳未満の子どもを持つ保護者に対しても，愛護活動の協力を求めていくことになる。

そのためには，愛護活動の周知が必要であるので，愛護委員の活動内容や愛護センターの役割を記載したリーフレット「愛護だより 乳幼児編」を作成し，7月に公立及び私立幼稚園，保育所に協力を求め，保護者に配布をしていただいた。

また，その後の愛護活動報告についても，「愛護だより 乳幼児編 2」を作成し，配布していただいた。

(2) 愛護委員活動の充実について

山手中学校校区の3班合同のパトロールや，市内合同パトロールを実施した。

市内合同パトロールでは，新たに開校，開所した施設を視察個所に追加した。

また，上記(1)にかかる愛護活動をすすめていくには，愛護委員の役割は大きく，各班が地域の公立幼稚園と連絡を取り，子どもたちと保護者に愛護活動や愛護委員の

紹介を行ったうえで、以降、登園・降園時の見守り活動を、各班の状況に合わせて進めてきた。

就学前の乳幼児を持つ保護者との連携をどのように持つ事ができ、愛護活動に結びつけていけるのかが課題でもある。